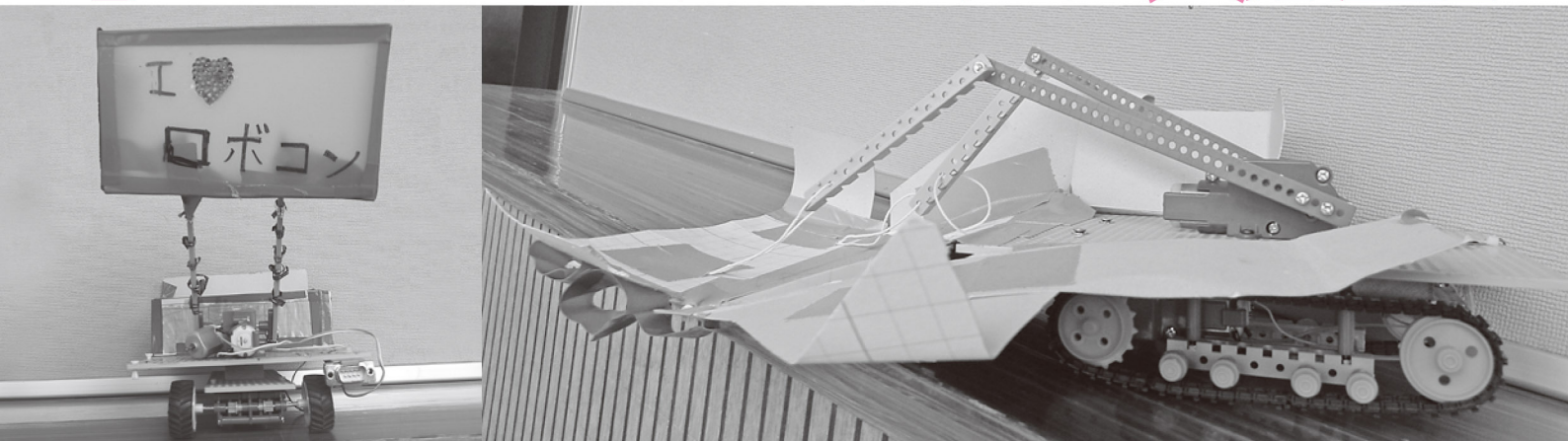


子どもたちのアイデアが大集合!



子どもロボットコンテスト 千寿小学校 ～子ども元気基金活用事業～

子ども元気基金は、子どもや先生の「したい・させたい」が実現する事業です。

千寿小学校では、「先生たちの理科を楽しく勉強させたい」が『子どもロボットコンテスト』として実現しました。

子どもたちが製作するロボットは、お掃除ロボット。ロボットコンテストでは、ゴミに見立てたボールをいかに多く運ぶか、いかに速く運ぶかを競いました。

楽しみながらも真剣に取り組む子どもたちの姿は、P2・3ページと、足立区ホームページで紹介しています。

足立区トップページ>

子育て・教育>教育についての取り組み>子ども元気基金
>子どもロボットコンテスト(千寿小学校)

*次のページで子ども元気基金の活動を紹介しています

アが実現しました

基金活用事業～



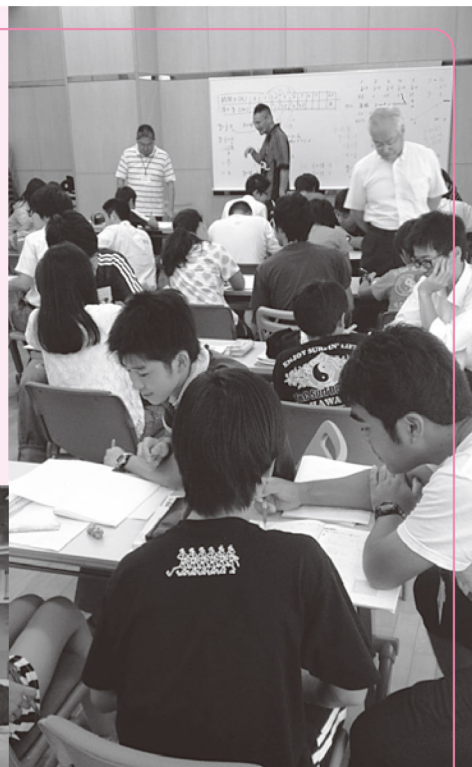
**どもロボット
コンテスト
(千寿小学校)**

わかって運ぼうかな?!

▶きめ細やかなマンツーマン指導。
わからないところは徹底的に!

**中1
夏季勉強合宿**

わかるって楽しい♪



◀意欲的に授業を受ける子ども
たち。挙げる手もピンッと伸
び、自信にあふれています。



これまでにない、新しい学びや体験の機会を作り出して経験してみたい(させてみたい)といった声を受けて誕生した子ども元氣基金。平成25年度も子どもや先生たちのアイデアから「戦場カメラマン」の講演会や東京電機大学と連携したロボットコンテストなどが実現しました。

夏休みに鋸南自然の家で『中1夏季勉強合宿』を開催しました。足立区教育委員会は学力向上のためにあだち小学生基礎学習教室や中学生補習講座などに取り組んでいます。先生の「つまりさやすい数学の基礎を中学生の早い時期に少数で徹底的に補習したい」という声がこの合宿に繋がりました。

区内の中学1年生95名と小・中学校の先生延べ105名が合宿に参加しました。

携帯電話やテレビなどの誘惑から離れ、みっちり勉強漬けの6日間を過ごし、最初は渋々参加していた子どもも、先生のほぼマンツーマンの熱心な指導を通じて、次第に問題を解く楽しさを覚え、どんどん積極的に手を挙げ、授業に取り組むようになりました。

合宿最終日には、教えてくれた先生と信頼関係が生まれ「ありがとうございました!」と大きな声であいさつする子どもの姿もあり、勉強についても「苦手だった数学が好きになった」「また同じ合宿があれば参加したい」という声がありました。

みんなのアイデア ～子ども元気基

戦場カメラマン講演会(花畑西小学校)

世界中の子どもたちの声を届けたい

▼“戦場カメラマン”渡部陽一氏を招き、講演会を行いました。講演会には、花畑西小学校だけではなく、近隣の小・中学校の子どもたちも参加しました。『戦場写真を撮ることで、泣いている子どもたちを減らす』という戦場カメラマンの使命、戦争が起こる理由や紛争地域の暮らしを、身ぶり手ぶりを交え、わかりやすく語ってくれました。戦場の写真がスライドに映ると、目をそらしてしまう子どももいましたが、戦争や平和について考える貴重な経験ができました。



▲「写真を撮るのが一番大変だった国はどこですか」などの子どもたちの質問にも丁寧に答えてくれました。

▶3人の息が合わないと、まっすぐ進むこともままなりません。「1・2、1・2」と掛け声が響きます。

▼コンテスト当日もギリギリまでロボットを調整。みんなで知恵を出し合い、ロボットを工夫していきます。



勉強合宿の教員の声

- 中学校の数学を理解するために、小学校の算数をしっかり理解しておくことが大切だと改めてわかった。
- つまずきやすいポイントがわかったので、今後の補習に活かしていきたい。
- 小学校の先生方の丁寧な説明が勉強になった。
- ベテランの先生の授業テクニックを学ぶことができた。

また、小・中学校の有志の先生が丸となって参加したことで、有益な情報交換ができた。小・中学校の指導方法の違いがわかるなど、小中連携への意識が深まりました。「区全体で学力の底上げをしなければならぬ。やればできることはまだまだある」という教員の力強い声もありました。

子ども元気基金の取り組みの実現には、地域や大学など多くの方々の協力がありました。子どもと先生方の学習への想いを大切にしながら、さまざまな取り組みで得た繋がりや経験を、足立区教育委員会は今後の取り組みに活かしていきます。

を見つけよう



ギャラクシティ

GALAX CITY

「楽しい！」と好評で、子ども
役にはない取り組みとして、
イベントを運営サイドに立って企
業も魅力の一つです。
とのないもの、やったことの
大きい。自分の好きや得意がき
ひお越してください。

ありがとう！
利用者数
100万人突破！！

子ども・みーていんぐ

『こども』。イベントに向けての共同作業を通じて、
ながら自主性や協調性を育てています。このペー
出にに使われている“こどもフォント”や“へん
ん星人”など、こどものつくったものがギャラク
に活かされています。



施設の運営に
ふかーく関わる！



へんてこ
いん星人



ぐりおみこしで練り歩き



▲みんなでイベントの準備!

▲館内のいろいろな場所に潜んでいるよ。探してみてね!

連続講座 こどもえんげき部

千住を拠点として活動する演劇ユニット『バスト
』によるワークショップ。子どもたちが物語をつ
て演じます。でき上がった作品は3月の春フェス
表！参加してみたい方は、ギャラクシティへお問
合わせください。途中からの参加も大歓迎です！

元からあるストーリーにそって、ただ役を演
じるのではなく、“一から、みんなで作って
いく！”ことが、こどもえんげき部のコンセプト。
演劇経験なんてなくても、とにかくやってみ
よう、動いてみよう！自分たちの物語をつくる
楽しさ、見つけていく楽しさを、一緒に感じて
みませんか？



▲『バストリオ』を主宰する今野裕一郎氏

声を出そう！
表現しよう！



自分のすきやとくいを

自らの夢や可能性に気付く、挑戦していく子どもたちを育む施設、「ギャラクシティ」。プラネタリウムやネット遊具などの設備はもちろん、運動、科学、ものづくりなどの多様な体験が充実しています。

平日の放課後は、ものづくりや実験を無料で楽しめる『放課後ガレージ』。また、子どもたちが一つのことにじっくりと取り組める連続講座もあります。4月から7月に行われた連続講座『こども茶道部』では、麦茶について一から学び、最終的には来館者に自分たち

で炒った麦茶をふるまいました。「おいちも大喜びでした。また、他の施設子どもたちが春・夏のフェスやイベントで描く活動『こども・みーていんぐ』

ギャラクシティで、今まで触れたことのないことをたくさん体験してみてください。きっと見つかる「ギャラクシティ」にぜひ

放課後 ガレージ

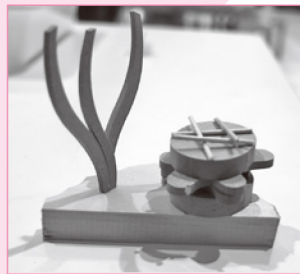
平日の放課後に開催！
さまざまな工作や実験を楽しみながら、
子どもたちの興味の幅を広げます。

月・水・金曜日：実験プログラム
『かがくであそぼう』
火・木曜日：工作プログラム
『ものづくりアワー』
時間：午後2時30分～4時30分
費用：無料
※直接ギャラクシティ内
ものづくりガレージにお越しください。
※未就学児も楽しめる内容です。

いつ来ても
新しい発見！



▲動物サイコロ



▲木の端材で工作



▲動物モビール



▲夏フェス・手

*月ごとにテーマが変わるので、何度来ても楽しめます。

Pick up!! ものづくりイベント

「いろいろ版画 de 年賀状」

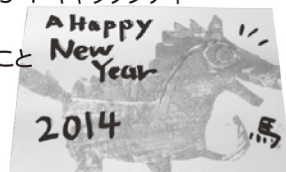
スチレン版画、ローラー版画などいろいろなやり方で年賀状づくりにチャレンジ! つくった作品は年賀状コンクールに応募しよう!

日にち 平成25年12月28日(土)・29日(日)
時間 第1回 午後2時～2時45分
第2回 午後3時～3時45分
対象 5歳児～中学生(未就学児は保護者同伴)
会場 ギャラクシティ内ものづくりガレージ
定員 各回20名
※当日の午後1時から会場にて整理券を配ります。

「こども版画年賀状コンクール2014」

優秀作品はギャラクシティで展示・表彰します!
世界に1枚だけのオリジナル年賀状をコンクールに応募しよう!

応募期間 平成25年12月21日～平成26年1月7日
応募方法 はがき表面に住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、郵送もしくは持参
宛先 〒123-0842 東京都足立区栗原1-3-1 ギャラクシティ
「こども版画年賀状コンクール」係
規格 ①版画の技法を用いた年賀状であること
②官製はがきもしくは、
官製はがきと同じ大きさの紙
対象 中学生まで



開かれた学校づくり協議会

活動紹介⑥

ふれあいいきいきサロン 六月中学校



耳慣れた音楽で和やかな雰囲気

10月12日、地域の高齢者と生徒が交流する土曜事業、第1回『ふれあいいきいきサロン』が開催されました。民生・児童委員を中心に構成された地域交流部会が担当です。

生徒手作りの招待状を手に、25名が参加。緊張していた初参加の方も、吹奏楽部が演奏する童謡メドレーなどを聞きながら和やかな表情を浮かべていました。

交流会のサイコロトークのお題は初恋や青春時代の思い出など。「初恋なんて忘れたよ」と赤くなつた笑顔と、戦争時代のお話に聞き入る生徒たちの顔。

閉会式では、参加者は「演奏を聴き涙が出た」「この年になっても学ぶことがある」、生徒は「空襲の話が勉強になった」「昔の生活に関心を持った」と感想を口々に語りました。

飯泉いひずみ部会長は「今年で11年目を迎え、楽しみにしている方も多く、定着してきました」と話します。

人と人とが触れ合い、みんなが「いきいき」するこのサロンは、クリスマススケーク作り、百人一首大会なども予定されています。



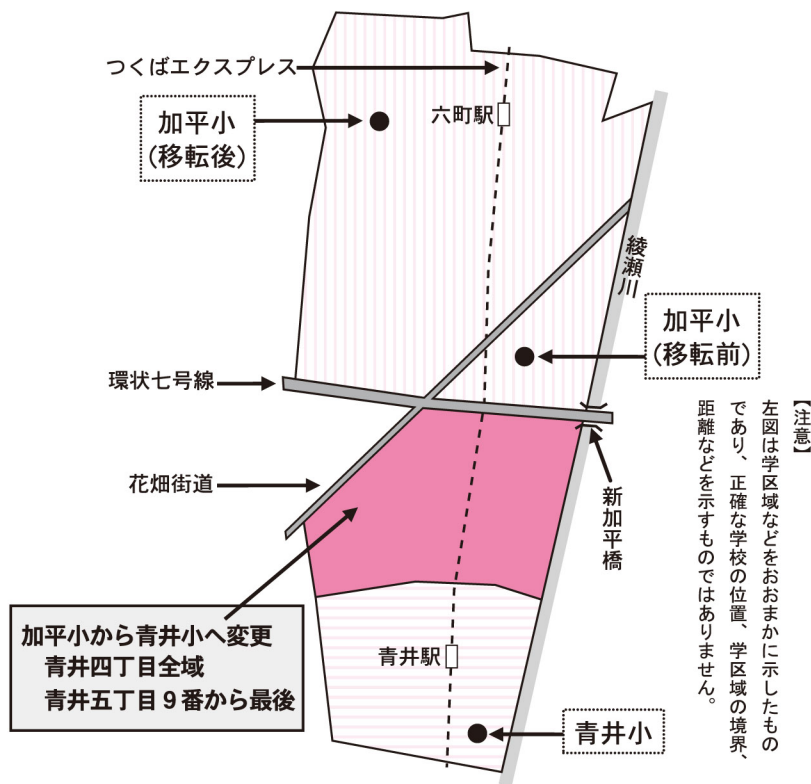
折り紙アートで参加者に優しく手を添える生徒



サイコロトークでみんな笑顔に

加平小学校と青井小学校の学区区域が変わります

平成26年4月、加平小学校は区画整理事業を受けて、現在の西加平一丁目8番6号から六町三丁目3番11号の新校舎へ移転します。併せて、児童の通学時などの安全確保を考慮し、加平小学校の学区区域の一部を青井小学校へ編入します。



【注意】
左図は学区区域などをおおまかに示したものであり、正確な学校の位置、学区区域の境界、距離などを示すものではありません。

- 通学区区域の変更は、平成26年4月1日からとなります。
- 右記以外の加平小学校と青井小学校の通学区区域に変更はありません。
- 現在在学中の児童は、卒業までそのままに学校に通学することができます。
- 平成26年4月の新入生から、新たな通学区区域が適用されます。

小・中学校の最終応募状況 ～学校選択制度～

区立小・中学校の学校選択制度は、平成14年度新入学生から開始しました。この制度は、学区の学校への入学を原則としつつ、学区外の学校についても入学を希望できるものです。平成26年度に区立小・中学校へ入学を希望する新1年生について、各校の最終応募状況は表のとおりです。学校規模や教室数など、受入の可能性を十分に検討しましたが、綾瀬小学校、梅島小学校、加平小学校、千寿本町小学校、西新井小学校、東綾瀬小学校、東加平小学校、第四中学校、第五中学校、第十中学校、第十四中学校、千寿桜堤中学校、西新井中学校、澁江中学校、谷中中学校、六月中学校の16校が抽選を実施することになりました。なお、抽選校以外を希望された方は、全員希望校へ入学できません。

小学校

No.	学校名	受入可能人数	最終応募人数	うち学区内人数
1	青井小	65	60	53
2	足立小	100	98	73
3	足立入谷小	65	23	22
4	綾瀬小	135	164	127
5	伊興小※	100	101	83
6	梅島小	135	146	106
7	梅島第一小	65	34	30
8	梅島第二小	65	53	43
9	桜花小	65	60	55
10	扇小	65	46	34
11	大谷田小	65	50	43
12	興本小	100	78	46
13	加平小	100	108	38
14	上沼田小	65	12	9
15	亀田小	135	127	114
16	北三谷小	100	57	38
17	北鹿浜小	65	48	36
18	栗島小	100	63	60
19	栗原小	65	60	57
20	栗原北小	100	91	66
21	弘道小	65	50	41
22	弘道第一小※	65	66	45
23	江北小	65	41	35
24	高野小	65	54	25
25	古千谷小	100	97	80
26	血沼小	65	59	48
27	鹿浜小	100	63	46
28	鹿浜第一小	135	113	90
29	鹿浜西小	65	41	36
30	島根小	100	96	76
31	新田小	240	235	232
32	関原小	100	68	57
33	千寿小	100	83	70
34	千寿桜小	65	48	38
35	千寿常東小	100	96	74

抽選校 ※凍結校

中学校

No.	学校名	受入可能人数	最終応募人数	うち学区内人数
1	第一中※	130	147	98
2	第四中	200	433	135
3	第五中	95	125	65
4	第六中	95	93	78
5	第七中※	130	143	67
6	第八中	130	75	35
7	第九中※	165	163	101
8	第十中	165	186	146
9	第十一中	235	232	139
10	第十二中	165	161	117
11	第十三中	200	204	168
12	第十四中	270	419	200
13	青井中	95	63	51
14	伊興中	200	184	142
15	入谷中	95	61	40
16	入谷南中	130	84	61
17	扇中※	95	101	87
18	加賀中※	95	110	89
19	蒲原中※	200	215	177
20	上沼田中	60	55	24
21	栗島中	95	74	49
22	江南中	95	70	70
23	江北中	130	77	39
24	鹿浜中	95	70	52
25	新田中	95	118	114
26	千寿青葉中	130	119	84
27	千寿桜堤中	165	384	124
28	竹の塚中	95	67	52
29	西新井中	200	216	118
30	花畑中	95	36	30
31	花畑北中	95	47	35
32	花保中	95	85	66
33	東綾瀬中※	200	229	169
34	東島根中	130	92	72
35	澁江中	235	255	148
36	谷中中	165	198	134
37	六月中	200	273	130

- ◆この表には、転出予定者や国・都・私立学校入学希望者なども含まれます。
- ◆伊興小学校、弘道第一小学校、竹の塚小学校、舎人小学校、中川小学校、東伊興小学校、東澁江小学校、弥生小学校、第一中学校、第七中学校、第九中学校、扇中学校、加賀中学校、蒲原中学校、東綾瀬中学校は、最終集計時以降の希望者の入学を制限していきます（凍結校）。ただし、3月3日現在の欠員の状況によって、凍結を解除することもあります。

教育委員会の活動

◆動き
(平成25年7月～平成25年10月)
教育委員会には定例会4回及び臨時会1回の開催を通じて11件の議案が付議され、審議の結果すべて可決されました。

《主な議案》
* 足立区こども未来創造館条例の一部を改正する条例の進達について
* 足立区立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
* 足立区地域学習センターの指定管理者の指定の進達について

◆会議の傍聴
会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

教育委員会の活動

7月
教育委員協議会(二回)

8月
教育委員協議会
小中連携モデル校発表会出席

9月
教育委員協議会(二回)
足立区議会定例会出席(教育委員長)

10月
教育委員協議会
中学校周年行事記念式典出席
市町村教育委員会研究協議会出席

ありがとうございました 足立区育英資金寄附金

中村 政信様／東京土建一般労働組合足立支部様／株式会社 ナカネ様／近藤 悦子様／東綾瀬申講様／匿名 4名



Vol.10 すごいね！ あだち

第53回全国中学校水泳競技大会

水泳男子400mメドレーリレー 第3位

第十四中学校 水泳部

進んでいきます。メドレーリレーの選手たちは全員3年生です。「出会えて良かった」と選手たちが口にする仲間たちと支え合い、辛い練習に耐えた経験を糧に、選手たちは高校での全国大会出場や大学進学など、それぞれの道を進んでいきます。

全国大会の慣れない会場、たくさんの観客・・・。選手たちは独特の緊張感に包まれていました。リレーは個人種目と違い、自分の順番を待つ間に歓声がよく聞こえてきます。中には水泳部の仲間や後輩、家族の声がありました。日ごろから支えてくれている人々の応援は、選手たちの緊張を力に変えて、全国3位という素晴らしい成績に繋がりました。



佐久間 俊輔さん (種目/背泳ぎ) 東木 将馬さん (種目/平泳ぎ) 森川 幸輝さん (種目/バタフライ) 赤坂 祐樹さん (種目/自由形) (全員3年生)

あだちの子どもたち

第43回全日本中学校

バレーボール選手権大会

第3位 渚江中学校男子バレーボール部



このチームを指導できて幸せでした」と顧問の日笠先生は話します。その理由は、選手たちの厳しい練習に耐え抜いた末の全国第3位という成果だけではなく、大会中や日ごろの行動にもあります。大会でビシッと手を振る入場行進や、きちんとしたあいさつにより、模範的なチームだと評判になりました。

また、全国第3位の実力をひけらかすことなく、引退後も後輩のためにネット張り、球拾いなどを率先して行っています。バレーボールをやっていて良かったこととして、選手たちは家族の応援へのありがたみを感じたことを挙げました。選手が感謝の気持ちを込めてメダルを掛けた保護者が涙する場面もありました。

選手たちはバレーボールの実力だけでなく、礼儀正しさと謙虚さを身に付け、応援してくれた人々への感謝の気持ちを抱きながら、それぞれの夢へと向かっていきます。



(上段) 齋藤 巨さん 天野 公貴さん 片山 玲さん 中野 凌さん (中段) 日比谷 建吾さん 中野 竜さん 土屋 明大さん (下段) 吉田 侑平さん 高橋 環太さん 北河 雄也さん (全員3年生)